

1989 (毎月1回) 発行

12月号

(村の面積)
332.60km²

発行 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(平成元年12月1日現在)

村の人口	912人
総人口	912人
男	447人
女	465人
出生	1人
死亡	0人
転入	1人
転出	1人
世帯数	305世帯



穴馬かぶら漬けに高い人気

穴馬かぶら

収穫

漬物に加工し出荷

特産品「穴馬かぶら」の収穫が最盛期を迎えています。

三十戸の農家が、スイートコーンの後作として約一・二ヘクタールの畑で栽培し、十月下旬から収穫しています。

今年は二十四トンの収量を見込んでおり、市場や県民生協に出荷するほか、切り漬けや丸漬け、はさみ漬けなどの漬物に加工して、県内のデパートや量販店に出荷され、贈答用として人気が高まっています。

特産物加工場では、みずみずしいかぶらを丁寧に水洗いし、漬物に加工する作業に大忙しです。

収穫は十二月上旬まで続き十二月いっぱい加工販売する予定です。

みんなで越美北線を利用しよう

◆ ◆ ◆ シリール連載(第一回) ◆ ◆ ◆

和泉中学校にパソコン室完成 十五台備え情報教育スタート



(生徒用に14台、教師用に1台の計15台が備えられたパソコン室全景)

和泉中学校にパソコンが導入されました。実際にどのよう
に利用されているのか村民の皆様
に知っていただくため、今回より
中学校の先生方に連載で機器に
関することなど執筆いただくこと
になりました。

学校にもコンピュータが導入される時代になり、和泉
中学校では、県内の学校に先
駆けて、昨年度より導入を検討
しておりましたところ、村民
皆様のご理解を待まして、十
月にパソコン教室が完成致し
ました。村民の皆様へのお
礼を兼ねて、シリーズでご報

告致します。今回は設備の紹介
です。
校舎二階にあった音楽室を大
改装し、コンピュータを導入
しました。生徒が一人一台
使用できるという大変恵ま
れた環境にあります。さらに
すばらしいのは、生徒のコン
ピューターと教師のコンピ
ューターが、ネットワークで結
ばれているという点です。ネ
ットワークで結ぶことの利点
は、教師が常に生徒の進捗状
況が把握しやすいところにあ
ります。また、教師から生徒
への教材の転送や学習結果の
回収が、スムーズにできます
もちろん転送できるのは、コ
ンピューターの画面だけでなく、
ビデオ映像や写真画像も送
ることができます。このよう
なネットワークで結ぶ施設は、
県内初の試みです。導入が
予定されている学校から熱
い視線が寄せられていること
でしょう。

そのほか主だった設備につ
いて列挙します。
◎プリンター(印刷する機械)
◎イメージスキャナ(写真を
コンピュータの中に取り
込む機械)

ヘッドセット(先生と個別
に話をするマイク)
◎モデム(電話回線を利用し
て市販教材を取り寄せる機
械)
◎マウス(図形を描くときに
便利な機械)

ふれあい村民号「アストルの旅」 七四人が参加

越美北線に乗る運動と村民
のふれあいを高める目的で毎
年好評の「アストルの旅」が
十一月二十日から二十一日の
二日間、愛知県西浦温泉一泊
二日コースにより実施されま
した。

コンピュータを活用して、
日々の教育に結び付けていく
実践は、今始まったばかりで
す。今後とも村民各位のご支
援をお願い致します。今回は
授業風景についてレポートし
ます。



義平公と青葉の笛 (伝説と史実)

笛研究家 美濃晋平氏寄稿

源義平は源氏の嫡男であるにも関わらずその一生は謎に包まれている。出生後、義平がどこで誰に育てられたかは不明で、没年についても、二十

才とも、二十才とも伝えられている。

義平公年表はいくつかの一般的な資料を合せて作製した。(表一)

伝説や伝説にまつわる文化財の信憑性を確認するのは誠に難しい。それは何処迄が史実でどこからがフィクションかの境界が明確ではないからだ。

伝説や伝説にまつわる文化財に対する立場には両極がある。一方は伝説だから史実とは全く関係なく、始めからその信憑性を論ずるなど意味がないとする立場、他方は伝

説は作り話と異り、そっくり史実に近いと考えようとする立場である。いずれの立場も、事の真実に近づくには不十分である事は言うまでもない。

和泉村に伝わる「義平公と青葉の笛」についても、本来に和泉村(穴馬)に義平公が来たのであろうか。青葉の笛と言うのが青葉の笛と言え、平敦盛が所持していた笛ではないか。あの笛は偽物ではないか。とする素朴な疑問が浮

んで来る。又、年表からもすぐ気付かれる様に、平治の乱に敗れ、義平が美濃青墓を出たのは平治元年十二月二十八日、明けて平治二年一月二十一日に笛を朝日家に残して穴馬を去り、その四日後の一月二十五日には京都六条河原で斬首となっている。

一ヶ月以内に義平が朝日家の娘と知り合い恋仲になり、子を宿した事を知り、片身の品を残すなどと言う事は、物理的に不可能ではないか……義平伝説も青葉の笛も、あれは後の世の作り話しよと一笑に付すのは易やすい事である。それでは義平公が穴馬を訪れた可能性は全く無いのであ

らうか。

義平伝説は越前穴馬に限らず、奥美濃の郡上、飛驒白川の雨子谷、益田郡金山町、更に同郡萩原町久津に伝わっている。しかもこの久津では鎌倉の鶴ヶ岡八幡宮を勧請して

久津八幡宮を創建し、さらに兵を募ったと伝えられている。更にこの神社には義平公が所持したとする「祖師野丸」と銘のある太刀まで伝えられている。義平伝説はここに留まらず更に北飛驒の神岡町吉田の傘松城で当地の豪族吉田佐兵衛尉を訪ずれたとしている。又、当地には神岡町の洞山の麓に義平の家臣の塚として五輪一墓を残している。

これから五ヶ所以上にも及ぶ義平公伝説が全くの作り説であらうか。他に義平公伝説をこの様に集中して伝える地を私は知らないし、まして穴馬を加えれば六ヶ所に及ぶ地域が一つのつながりと広がりを持つと考える時、義平公と越前、美濃、飛驒の地区のつながりのただならぬ事を想像しなくなる。

義平公年表の一一五六年(保元元年)保元の乱では多数

の坂東武士が義朝に従って戦っているが、義平の名は全く現れない。保元の乱の前年には十五才の初陣で叔父義賢を討つて勇名を轟かせた義平は一体この保元の乱の時は何処に居たのであろうか。

保元の乱は上は天皇家から摂関家・貴族、下は源平両家に至るまで、同族が敵味方に分かれての戦いであった。特に源義朝は父の為義を始め弟の鎮西八郎為朝など源氏の一族の殆んどを敵にまわしての戦いであった。元来美濃、越前から飛驒にかけては源氏の地盤の強い所であった。この地域一帯の源氏の家人が敵方為義に加勢するのを恐れて、義朝が義平をその押えとして配していたとは考えられないであらうか。

先に義平公が飛驒を訪ずれた際、鎌倉の鶴ヶ岡八幡を勧請して久津八幡を創建し兵を募ったと伝えられる事は既に述べた。

従来平治物語の陽明文庫本や九条家旧蔵本で、平治の乱に破れた義平は美濃の青墓から、飛驒の国へ向い、兵三千を集めたとしている事と、こ

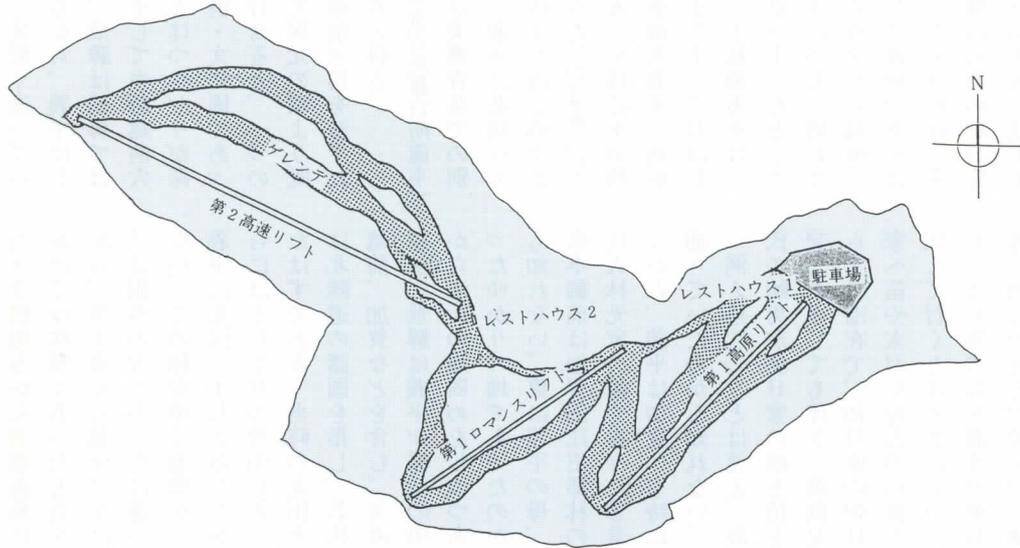
の久津八幡で義平が兵を募ったとする記述を結びつけて考えられて来た。しかし先にも述べた通り、美濃青墓で父子袂別して、その四週間後には京で斬首されるまでの間に、郡上、雨子谷、金山町でいくつかの伝説を残し、久津八幡を創建して兵を募り、更に神岡まで足を延ばしたとするのは、物理的に不可能であらう。

久津八幡宮にはその社殿造立棟札が残されており、この棟札は一四二二年(応永十九年八月十五日)白井太郎俊国が社殿を再建した時のものである。その棟札を図に示したが、この棟札では、源義平が飛驒を訪ずれ、久津八幡を建立し、兵を募ったのは、平治年間ではなく保元の年と明確に述べている。

もし義平が飛驒へ入り、多くの伝説に連る様な事跡を残したのが保元年間であったと仮定すると多くの疑問は氷解する。即ち美濃から飛驒にかけての多数の伝承をわずかに一ヶ月で行ったとする必要はなくなる。恐らく義平は父義朝の命を帯びて、保元の頃より美濃の青墓から奥美濃、飛驒

リゾート開発へ弾み

平成二年十二月一部オーブン 用地買収完了



村が西武グループの近江鉄道株式会社（本社・滋賀県彦根市）と開発を進めている和泉スキー場（仮称）建設予定地の用地買収が、このほど完了しました。

これは、民間資本を導入した大規模スキー場開発構想として、家族旅行村整備計画の一環として進められていたもので、現在は県が推進している奥越高原リゾート構想の特定地域として計画が進められています。

スキー場建設予定地は、朝日前坂地区の通称蛇鏡山。計画によるとスキー場の開発面積は約二百畝で、半分の約百畝が民有林。買収交渉は昭和62年3月から始まり、このほどその諸手続が完了しました。計画によると、三期に分け工事が進められる予定で、第一期工事は来年の雪解けとともに着手。12月のオーブンを目指すこととなります。

千二百台収容の駐車場（三・六畝）駐車場に隣接し、RC及び鉄骨造二階建、レストラウン、バーガーショップ等を備えた近代的なレストハウス（延床面積九百㎡）、それにコース・ゲレンデ（約十三畝）の整備となっています。

また、二期・三期工事においては、第一ロマンスリフト（七百五十畝）、第二高速リフト（千二百二十畝）の設置第二高速リフトのエプロンに隣接した木造平家建のレストハウス（建築面積二百三㎡）の建設と、コース・ゲレンデ（約三十七畝）の整備が主な工事になる予定です。

今回の計画を三期に分けることに関して近江鉄道は、第一期工事を平成二年度としており、第二期、第三期工事は順次、二年毎の計画で総合完成は平成七年度の予定。これは、中部縦貫自動車道の建設計画、東海北陸自動車道の開通等の高速交通網の整備計画に基づいたものだとしています。

このファミリーゲレンデから上級者にも充分滑りごたえのある急斜面のゲレンデレイアウトとなり、各レベルに合わせたコース取りが可能になるため、すべてのスキーヤーを満足させるものになるということです。

特に、第三期工事計画のゲレンデは標高差三百六十畝、延長一・四kmの完全な上級者向けのバーンとなり、コース最上部からベースとなる駐車場までを一気に滑走すると、標高差五百十畝、総延長二・五kmの滑りごたえ充分のロングコースになり、加えて蛇鏡山一帯は、十一月中旬には初雪が降り、北斜面ということもあり四月中旬まで滑走可能になり、コース上部は特に積雪量が多く、季節風が脊稜山地を越えて来るため乾燥した最良の雪質になるそうです。

施設の特徴としては、第一第二高速リフトで、これは、クアドリフトと呼ばれる、四人乗りのリフトで、輸送人員は一時間当たり二千四百人、速度は最大、四畝毎秒で、近隣のスキー場には見られない施設。特に第二高速リフトは

コース上部に設置するという
ことから、フード付のクラブセ
ル型とのことで、施設として
も最新のスキー場のようです。

この大規模な開発に伴い、
村としても県道からのアクセ
ス道路（村道蛇鏡線）の取り
付け工事に掛かっています。

これは、昭和63年度から、
三ヶ年計画で進めているもの

年に一回は 定期検診を

平成元年度

検診結果まとめ

成人病は知らないうちに進
行している病気なので、症状
があらわれたときにはかなり
進行している場合があります。

しかし、早期に見れば、
完全に治すこともできます。

また、日常生活の工夫でそ
の病気の進行をおそくしたり
病気が重くならないですませ
ることもできます。この第一
歩が定期検診です。

今年、去年にくらべ受診
者も多く、また、要精検査者
等も多くみられましたが、早
期発見で大事には致りませ
んでした。

で、総延長一・六キロ、幅員七
メートル、総工費八億円に及ぶもの
で、現在、工事は急ピッチで
進められています。

県内では最大規模になるこ
の計画は、今回の用地買収完
了により、平成2年12月一部
オープンに弾みがつき、村と
しては各関係機関との調整を
図り完成を目指します。

◎大腸がん検診

受診者 昭63 七三人
平1 一一九人
(要精検査者数 一人)

検診は、たんに病気の有無
を確認するだけでなく、検診
を受けることによって、健康
管理の大切なチェック機会と
して利用して下さい。

来年も一人でも多く受診さ
れますようお願いいたします。

飲酒運転の恐怖

トラが動かす 凶器

これから年末・年始にかけ
て、外でお酒を飲む機会が増
えることでしょう。自分の車
で出かけると、帰りは、つい
飲酒運転をしてしまう人もい
るようです。飲酒運転の危険
は知っているのに、なぜハン
ドルを握ってしまうのですよ
うか。アルコールが体に与え
る影響を見ながら考えてみま
しょう。

ます。

この言葉は、ある意味で正
しいのです。アルコールには
脳を麻痺させる働きがあり、
その中でもまっさきに麻痺す
る脳の部分が、人が人である
ために最も大切なところ――
理性をつかさどる部分なので
す。理性が失われると、人は
だんだん獣に近くなる――ト
ラといわれてもしかたがない
というわけです。

そして、このような状態は
極端にいえば、おちよこ一杯
のお酒で、だれにでも起こっ
ていることです。

お酒に強い弱いというのは
理性があるかないかではなく
脳が、アルコールに強いかわ
いかに違いなのです。

お酒をほんの少しだけ飲ん
だ程度では、運転する能力に
限って言えば、まだ残ってい
ます。しかし、運転に必要な
判断力や物を見て考える力は
すでに失っています。飲酒運
転はいけません。

おちよこで一杯 理性が失われる

お酒を飲んで、酔った人を
よく「トラになった」とい

うのです。

ビール一本でも 運転に悪影響

健康な大人は普通、お酒を
一合くらい、ビール一本程度
で「ほろ酔い」といわれる状
態になります。こうなると、
理性を失うばかりか、運転に
必要な能力にも影響が出てき
ます。

例えば、外の刺激にボンヤ
リし始めて、目に見えている
ものにだんだん反応しなくな
ります。加えて、その反応に
も間違いが多くなっていくよ
うになります。

一つのミスも許されない運
転が、こんな状態で行われる
のは、大変危険です。

まだアルコールの入ってい
ない、理性があるときに、お
酒を飲んだらどうやって帰る
のかを決めておき、そのとお
りにすることです。そして何
より、酒の席には車で出かけ
ないことです。



遺跡分布調査に 御協力下さい

福井県埋蔵文化財調査センターより中部自動車縦貫道路の建設予定に伴い、事前に和泉村内全域の遺跡の分布について調査したいとの申し入れがありました。

これから雪の降るまで村内の田のあぜ道を十人内外の人数で歩いて土器等の破片を拾うという内容の調査で、作物や土地に影響はありませんので、よろしく御協力下さい。

消防署からの お願い

これから冬季を迎え、暖房器具の取扱い不良や屋根雪おろしによるガス漏れ事故など火災が多発する時期になります。火の取扱いには充分注意しましょう。

- 一、ガスコンロ(天ぷら油)
- (1) 天ぷらを揚げていてその場を離れる時は必ず火を消す。
- (2) ガスコンロの近くは整理整頓し燃えやすいものは遠ざける。

二、石油ストーブ

- (1) 燃えやすいものの近くでは使わない。
- (2) 火をつけたままの給油や持ち運びはしない。
- (3) 乾燥器がわりに使わない。
- (4) 外出時は完全に消火したことを確かめる。

三、たばこ

- (1) 寝たばこはしない。
- (2) 吸いながら、マッチはくずかごには絶対すてない。
- (3) 吸いさしを放置しない。完全にもみ消してその場を離れる。
- (4) 灰皿は大きめのものを使い必ず水を入れておく。

四、屋根雪おろし

- (1) プロパンガスボンベにも雪囲いをする。
- (2) 除雪するときはスコップなどでホースや調整器を破損しない様に注意する。
- (3) 自宅周囲に避難路を作っておく。

医療費を有効に 使うために

病気やけがなどの治療のために使われる医療費がふえつづけています。

この医療費の増加が、健康保険の財政をたいへん苦しめています。

そこで、医療費を有効に使うために次のことを守りましょう。

一、重複受診はやめよう

検査、処置、注射、薬などをやりなおすため、医療費のムダ使いに。

二、できるだけ診療時間内に受診を

急病の場合はともかく、時間外は加算料金がつくし、お医者さんの負担にも。

三、薬ねだりはやめよう

やたらにねだる、指示どおり飲まない、いずれも医療費のムダ。

四、早期発見・早期治療を

やたらに診てもらおうのは考えものだが、ふだんと様子が違ったら、早めに受診を。

五、家庭医をもとう

病歴や体質などを把握してくれているので、より治療効果が上がる。

六、健康診断を受けよう

治療より予防を心がけるため、定期的な健康チェックをしましょう。

国民年金の窓

国民年金の保険料は 毎月きちんと 納めましょう

国民年金の保険料は、毎月きちんと納められていますか。もし、保険料の納め忘れがありますと、万一の事故のとき、障害基礎年金が受けられないばかりでなく、将来の老齢基礎年金にも影響を及ぼし老後生活の支えを失うことにもなりかねません。

確実に年金が受けられるように、保険料の納め忘れには

ご注意ください。

ご注意ください。
また、納め忘れをなくすため、便利で確実な口座振替の利用をお勧めします。申し込み手続きなど、詳しいことは市町村の国民年金係でお訪ね下さい。

人のうごき(敬称略)
十一月分届出分

▲おめでた

名 前 住所
林 雅彦 下山
小林由久代 大野市

▲あかちゃん

名 前 保護者 続柄 住所
木下智仁 宏一 長男 朝日



ともひと 智仁くん

かわか君
西村 宗